

1 特殊詐欺被害の発生状況（9月末現在）

(1) 認知件数、被害金額等

認知件数（手口別）

	手口別比較	
	H27.9末	H26.9末
オレオレ	107	24
架空請求	60	34
融資保証金	9	7
還付金等	50	17
振り込み詐欺合計	226	82
金融商品等	12	30
ギャンブル情報	5	10
異性交際	1	2
その他	2	8
振り込み類似詐欺	20	50
特殊詐欺合計	246	132

被害金額（手口別）

	手口別比較	
	H27.9末	H26.9末
オレオレ	33,164	7,167
架空請求	15,649	12,844
融資保証金	396	549
還付金等	4,835	1,274
振り込み詐欺合計	54,044	21,833
金融商品等	15,251	37,837
ギャンブル情報	1,947	4,872
異性交際	38	349
その他	1,600	2,560
振り込み類似詐欺	18,837	45,618
特殊詐欺合計	72,881	67,451

※被害額は概数(単位:万円)。
それぞれの項目の合算と合計に差異が生じる場合がある。

年齢別

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
オレオレ					3	16	47	39	2	107
架空請求	5	6	3	8	4	11	11	12		60
融資保証金		1	1	1	2	2	1	1		9
還付金等					1	14	28	7		50
振り込み詐欺合計	5	7	4	9	10	43	87	59	2	226
金融商品等					1	3	3	5		12
ギャンブル情報					1	3	1			5
異性交際		1								1
その他					1			1		2
振り込み類似詐欺		1			3	6	4	6		20
特殊詐欺合計	5	8	4	9	13	49	91	65	2	246

男女別

	男性	女性	合計
オレオレ	19	88	107
架空請求	20	40	60
融資保証金	8	1	9
還付金等	16	34	50
振り込み詐欺合計	63	163	226
金融商品等	2	10	12
ギャンブル情報	4	1	5
異性交際		1	1
その他		2	2
振り込み類似詐欺	6	14	20
特殊詐欺合計	69	177	246

(2) 被害の特徴

- ア オレオレ詐欺、還付金等詐欺が前年の3～4倍と急増
- イ 被害者の約8割が65歳以上の高齢者、女性が約7割
- ウ 被害者の約9割は「被害に遭わない自信があった」と説明

2 被害防止対策上の課題

- (1) 高齢者に対する被害防止対策の徹底
個々の高齢者に対する直接の注意喚起が必要
- (2) 県民に対する典型的な手口の周知
「詐欺に注意」だけでなく、典型的な詐欺の手口（騙し文句）の周知が必要
※主な騙し文句
「会社のお金（小切手）を無くした。お金を用意しないとクビになる」
「女性とトラブルになって慰謝料（示談金）が必要になった」
「あなたの口座が狙われている。安全な銀行に移すのでお金を預かる」
「あなたの名義を借りたい・・・名義貸しは犯罪になるのでお金で解決」
「医療費（保険料）の還付金がある・・・ＡＴＭで手続きしてください」
- (3) 社会のセーフティネットの更なる強化
県民を特殊詐欺の被害から守る地域社会の連携強化が必要
※未然に被害を阻止した状況（9月末現在）
阻止件数 315件（前年比+254件）
阻止金額 4億1,017万円（前年比+2億1,044万円）

3 被害防止対策

- (1) 騙されない対策
 - ア 広報啓発活動
各種広報媒体の活用、セキュリティメールの発信 等
 - イ 高齢者対策
高齢者宅訪問事業、高齢者関係団体との連携 等
 - ウ 電話対策
特殊詐欺撃退装置の無料貸出し、コールセンター事業 等
- (2) お金を渡さない対策
 - ア 金融機関における水際対策
金融機関窓口における高額取引者に対する声掛け 等
 - イ ATM対策
無人ATMの警戒強化 等
 - ウ 現金送付対策
コンビニ、宅配事業者による宛名の照合 等